

| | | | |
|-----|----------------------|-------|-------|
| 科目名 | 経済学 B Economics B | 科目コード | 40446 |
|-----|----------------------|-------|-------|

| | |
|----------|---|
| 学科名・学年 | 全学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 佐藤 公俊（一般教育科）、松本 和明（長岡大学） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・選択・1単位 |
| 開講時期・時間数 | 後期，30時間【内訳：講義30】 |
| 教科書 | 鈴木敏文著『売るカー心をつかむ仕事術』文春新書(2013)、青才高志編著『現代経済の解説』御茶の水書房（2013） |
| 補助教材 | プリント、ウェブ、プレゼンテーション |
| 参考書 | 櫻井毅監訳『女性経済学者群像』お茶の水書房（2008）など授業中に指示 |

【A. 科目の概要と関連性】

松本：J. シュンペーターの「イノベーション：革新」理論をベースとして、日本を代表する革新的企業家活動および新潟県内各地域の経済・産業・企業の成長過程と現状、今後を考察する。

佐藤：日本の戦後の経済発展の蓄積様式と様々な経済問題をする。社会経済体制としての資本主義経済や市場経済と外部との関係を考察する。これは社会システムの、社会的必要労働を中心とした経済構造論の確立につとめることである。さらに、市民の自律・協働・連帯による新たな福祉国家体制を検討し、将来のあるべき社会体制を展望する

○関連する科目：法学、社会学、歴史学 I（以上前年度履修）、経済学 A（前期履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|--|-------|---------------|
| ①現代の社会経済の基本構造についてのキーワード、概念、論理、理論を理解する。 | 10% | (a1) |
| ②市場経済と外部との関係を考察し、社会経済体制の理論を理解する。 | 30% | (a1) |
| ③経済学における「革新」の概念、経済主体としての革新的な企業家活動および新潟県内各地域の経済・産業・企業の諸側面を理解する。 | 60% | (a1) |

【C. 履修上の注意】

新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験【75%】、レポート等【25%】

【E. 授業計画・内容】

● 後期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|---|----------|
| 1 | ウェッブ夫妻の福祉経済学、ピアトリス・ウェッブのフェミニズム／ジェンダー | 担当：佐藤 |
| 2 | 社会経済：市場経済・政府経済・家計経済・市民社会経済、市民的民主主義と福祉国家体制、社会システムの労働経済とフェミニズム、まとめと質問 | 担当：佐藤 |
| 3 | グローバリゼーションと福祉国家（1） | 担当：佐藤 |
| 4 | グローバリゼーションと福祉国家（2） | 担当：佐藤 |
| 5 | グローバリゼーションと福祉国家（3）；まとめと質問 | 担当：佐藤 |
| 6 | J. シュンペーターの「イノベーション：革新」の概念 | 担当：松本 |
| 7 | 日本における革新的企業家活動①：製造業 | 担当：松本 |
| 8 | 日本における革新的企業家活動②：流通・小売業 | 担当：松本 |
| 9 | 新潟県上越地方の経済・産業・企業の諸相 | 担当：松本 |
| 10 | 長岡市域の経済・産業・企業の諸相 | 担当：松本 |
| 11 | 新潟県中越地方の経済・産業・企業の諸相 | 担当：松本 |
| 12 | 三条および燕市域の経済・産業・企業の諸相 | 担当：松本 |
| 13 | 新潟市域の経済・産業・企業の諸相 | 担当：松本 |
| 14 | 新潟県下越地方の経済・産業・企業の諸相 | 担当：松本 |
| — | 学年末試験 | 試験時間：80分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | 担当：松本 |